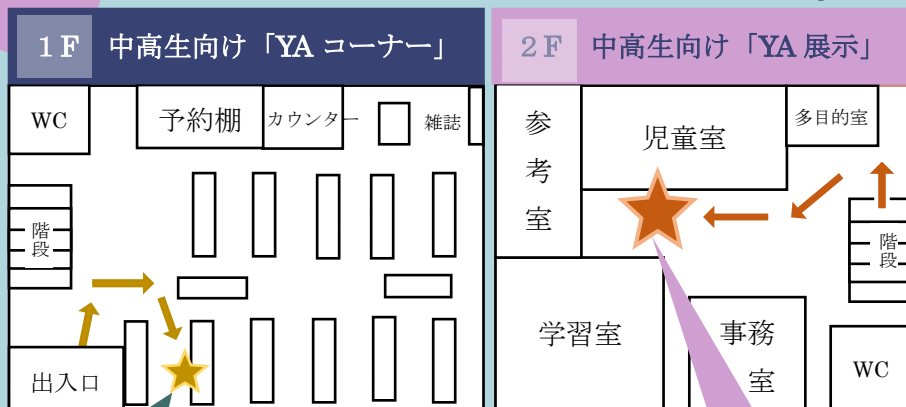


YA Corner in East Library



東館は
赤いシール
が目印



司書のつぶやき

あっという間に今年も折返しを迎えますね。新しい環境やクラスには慣れましたか？疲れが出やすい時期ですから、あまり無理をせず自分のペースを保てるといいですね。

さて、私たち YA 担当は中高生の皆さんにおすすめの本を日々選んでいます。実はひっそり児童書もおすすめしたいと思っています。子供向けの本なんて…と思うかもしれませんが、大きくて見やすいものや、内容が深いものも多いのです。例えばクジラについてまるっと知ることができる本や、教科書で読んだ懐かしの名作、ムーミンやプーさんの本もありますよ。ぜひ、いろいろなジャンルの本からお気に入りを見つけてみてくださいね。

東図書館YA担当

Y・A
DAYORI

ティーンズ
向け

S サクッと
Y 読める
T 短編集

2022年
5・6月号

Vol.14

東図書館 YA 担当

ゴールデンウィークや梅雨の時期、
過ごし方に迷っていませんか？

今回は、おうちはもちろん、
電車やバスの中など、ちょっとした
スキマ時間を使って気軽に読める
短編集を紹介しています。

レッツ S サクッと Y 読める T 短編集！

Exhibition book

『図書館で暮らしたい』

辻村深月／著

『かがみの孤城』などの著者によるエッセイ集です。直木賞受賞時のエピソードや自らの作品解説など本の話はもちろん、大好きなドラえもんの話、荒木飛呂彦さんのサイン本をもらった話なども登場。辻村さんとお友達になりたくなる一冊です。

『夜のピクニック』

恩田陸／著

主人公が挑む、高校生活最後のイベント「歩行祭」。それは全校生徒が夜に80キロを歩き通すというものでした。人に言えない秘密を抱える主人公は、それを歩行祭で清算しようとして…。きらきらまぶしい青春小説です。

『パンダ通』

黒柳徹子・岩合光昭／著

「黒柳徹子さん＝徹子の部屋」「岩合光昭さん＝猫」と思っていますか？実は、日本人で初めてパンダの撮影に成功したのは岩合さんで、いま日本パンダ保護協会の名誉会長を務めているのは黒柳さんなのです。そんな二人がパンダの魅力を楽しくおしゃべりします。

『箱庭図書館』

乙一／著

読者が集英社に投稿した原稿を、乙一さんがリメイクしていく「オツイチ小説再生工場」から生まれた短編集です。コンビニ強盗との奇妙な共同作業や、ふたりだけの文芸部員のやりとりなど、ぎゅぎゅっと魅力の詰まった一冊です。

◆アニマル

『トリノトリビア』川上和人／監修 西東社
『パンダ通』黒柳徹子／著 岩合光昭／著 朝日新聞出版
『吾輩も猫である』赤川次郎／著 他 新潮社
『ワンダフルストーリー』伊坂幸二郎／著 他 PHP 研究所

◆名作にふれてみよう

『走れメロス』太宰治／著 新潮社
『新編銀河鉄道の夜』宮沢賢治／著 新潮社
『不思議の国のアリス』ルイス・キャロル／著 角川書店

◆青春と恋

『夜のピクニック』恩田陸／著 新潮社
『好き、だった。』有川浩／著 他 メディアファクトリー
『短編少女』荻原浩／著 他 集英社
『百瀬、こっちを向いて。』中田永一／著 祥伝社

◆その他

『箱庭図書館』乙一／著 集英社
『図書室で暮らしたい』辻村深月／著 講談社
『アーモンド入りチョコレートワルツ』森絵都／著 角川書店
『グッドモーニング』最果タヒ／著 新潮社